

笑顔

光井中学校
教務通信
第20号
2021年(令和3年)

10月28日 木曜

これを楽しむ者に如かず

十月二十三日(土)に文化祭が行われました。各クラスの歌声が体育館いっぱいに響き渡った合唱コンクールでは、2A、3A、3Bが金賞を獲得しました。そして栄えあるコンクール大賞に輝いたのは3Aでした。

学年取組では各学年が創意工夫し、ステージ発表を行いました。一年生は時間をかけて取り組んできた地域学習の成果を、タブレットを使ったプレゼンテーションで発表しました。また各班が制作した大判の壁新聞は見応え十分でした。二年生は、動



1年「光井歴史学習」



2年「The Power Of Expression」

画作成、展示物製作、ダンスなどグループごとにテーマを決めて、その成果をステージで披露しました。既存の枠にとらわれない自由な発想によるパフォーマンスは会場を大いに沸かせてくれました。三年生は、ウィズコロナを題材にした創作劇を披露しました。コロナという現代的なテーマと、桃太郎などの昔話を融合させ、さすが三年生と思わせる質の高い発表



3年「三密太郎～コロナ禍の夏休み」

表に仕上げていました。また劇のエンディングは学年合唱で締めくくり、学年の団結力も示してくれました。

文化祭前日に、生徒会長や実行委員長がみんなの前で「明日は文化祭を楽しみましょう。」と呼びかけていました。客席で笑い、歓声を上げ、拍手を送る姿。ステージ上で一生懸命歌い、演じ、呼びかける姿。当日はそんな生徒たちの心から文化祭を楽しむ姿が見られました。

文化祭の先に

「分水嶺」という言葉があります。雨水が異なる水系に分かれる山稜を表す地理学の言葉ですが、転じて物事の方向性が決まる分かれ目を表す言葉と

して用いられます。文化祭は、生徒たちにとって分水嶺となる大きな節目の行事です。文化祭を境目として、生徒会や学校行事の中心は、二年生に引き継がれ、三年生は自分の進路選択に向けて集中していくことになりす。この文化祭の成功体験が、生徒たちの今後の学校生活の充実につながっていくことを期待しています。



文化祭エンディング

古典芸能への誘い

十月二十七日に三年生が、芸術鑑賞ワークショップとして日本の古典芸能「義太夫」を体験しました。講師の方の手ほどきで義太夫の呼吸法や発声を体験した後、代表生徒は台詞回しにもチャレンジしました。十一月十八日には、全校生徒が義太夫の公演を鑑賞します。

お知らせ

十一月初めの特別時程をお知らせしますのでご確認ください。
◆十一月一日(月)CS学校運営協議会(熟議)

- ・生徒下校14時35分
- ・生徒会役員生徒は15時〜16時30分、熟議に参加します。
- ・部活は中止です。16時までは家庭学習です。

- ◆十一月六日(土)人権教育参観日
- ・通常登校8時05分
 - ・1校時通常授業
 - ・2校時参観授業
 - ・ちひろさん講演会
 - ・生徒下校12時15分

光井中百景

その十九



光井中の海拔は15.7m、光井小は16.3m。光井小の3階から光井中を望むとこんな景色が目飛び込んできます。視点を変わるとまた違った姿があるのです。